

平成28年度愛媛県保育協議会 研修会等アンケート集計結果

| | |
|-------|--------------------|
| 研修会等名 | 愛媛県主任保育士・主幹保育教諭研修会 |
|-------|--------------------|

| | |
|-----|-----|
| 集計数 | 249 |
| 回収率 | 91% |

| | | | | | | | |
|------|-----------|---------|------|-----|-----|-----|-----|
| Q 1 | 性別 | 男 | 女 | 無回答 | | | |
| | | 9 | 237 | 3 | | | |
| | | 4% | 95% | 1% | | | |
| | 年代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 無回答 |
| | | 2 | 36 | 90 | 112 | 3 | 6 |
| | | 1% | 15% | 36% | 45% | 1% | 2% |
| | 地域 | 東予 | 中予 | 南予 | 無回答 | | |
| | | 68 | 76 | 101 | 4 | | |
| | | 27% | 30% | 41% | 2% | | |
| | 研修会を知った方法 | メール・FAX | HP | 口コミ | その他 | 無回答 | |
| | | 89 | 2 | 1 | 69 | 88 | |
| | | 36% | 1% | 0% | 28% | 35% | |
| 講義 I | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 | | |
| | 163 | 74 | 1 | 0 | 11 | | |
| | 66% | 30% | 0% | 0% | 4% | | |

Q 2

- ・自分の人とのコミュニケーションのとり方を見直す機会になった。
- ・普段の現場での自己振り返りにもなり、反省できた面があった。これから改善していけるようにしたい。
- ・自分のコミュニケーション不足もあるが、少しずつ職員がまとめられるように自分自身気を付けていきたいと思う。
- ・自己分析や体を動かしたり、声を出したりすることもあり、研修に集中することができた。
- ・マナーやコミュニケーション能力について普段聞けないことが聞けたので今回の研修に来てよかった。
- ・具体的でわかりやすかった。
- ・日頃の自分の言動や態度について見直すことができた。自分のできていること、できていないことが再確認できたので、これから役に立っていききたい。
- ・わかりやすい内容で身になった。
- ・まずは自分が率先垂範をして、若い先生たちの見本となっていきたい。コミュニケーションをとって働きやすい職場環境を作っていきたい。
- ・園児に対して、保護者に対して、職員に対して、コミュニケーションがとれているつもりであるが、その力を分析することで自分の足りないところを認識することができた。
- ・主任保育士としてだけでなく、人として必要な接遇等の話で、わかりやすかった。
- ・発声トレーニングを今後活用していきたい。
- ・自分のコミュニケーション不足を感じた。積極的に話しかけていきたいと思う。
- ・聞きやすい声、口調だったので心地よかった。
- ・あいさつの仕方等、実践してもらえよかった。
- ・口の体操が楽しかった。
- ・自分らがお手本となり、自分も意見を持ち、正しく感じよく伝えられるよう心がけていきたい。演習など通して傾聴の大切さを改めて実感した。
- ・チェックリストなど具体的に自分のことをチェックすることで、できていることや課題など見つけることができた。
- ・まずは気持ちのいいあいさつ、そして自らが動くお手本となること、感謝をする、されるような環境づくり…この3点がとても心に残った。今後も心にとどめて、職員とのかかわりを大切にしていきたい。
- ・コミュニケーション能力の低さを痛感した。情報などに敏感になろうと思う。

Q 2

- ・明日から生かせる内容でとてもよかった。朝一番、先生の素敵な声で気持ちよく研修できた。
- ・細分化して自分のことを分析して考えられたのでよかった。何度も読んでもっと自分のことを知り、解決に向けた明るい歩みが必要…真っ暗闇だった。
- ・聴くことの大切さ。十四の心と耳でしっかり話を聴きたい。
- ・自分自身が率先して取り組むようにしていき、周囲にも伝えていきたいと思った。
- ・覚えておくといよいマナーがたくさんあった。
- ・保護者とのかかわりについて見通しが持てた。園に帰ってすぐに実践できそう。
- ・自分からコミュニケーションをとることはやや苦手としているので、具体的な手立てが分かってよかった。
- ・見た印象（表情、しぐさ、言葉遣い）を日ごろから柔らかくしたいと思っはいるが、なかなかできないのが現実。手の組み方、礼の仕方、あいさつひとつから気を付けていきたい。
- ・自分の「知りたい」と思う内容がたくさん盛り込まれており、話をとても楽しかった。
- ・職能教育が一番難しいと気付かされた。自らが動く手本となり、どうしてこのように動くのかきっちりと指導していくことが大切だと思った。
- ・自分を律して指導していきたい。
- ・あつという間の2時間だった。
- ・自分も反省するところがあり、笑顔で気遣いのできる言葉がけをしたいと思った。心をなくすことのないように。
- ・時々保育の現場に関係のない内容（名刺交換、発声練習等）があった。
- ・職場で一番悩んでいる事柄だった。やはり職員数が多くなればなるほど悩むところ。時々基本に戻ることが大切だと感じた。
- ・周りから見た自分を意識する余裕がなかった。立ち居振る舞いも含め気を付けていきたい。
- ・日々一日の始めに心がけてスタートしたい。時にこのように研修で再チェックしたい。
- ・自分がきちんと表現しないと相手に正しく伝わらないことを頭におき会話をしていきたい。
- ・年齢が上がるにつれ忘れがちだったことを改めて気づき、考えることができた。
- ・相手の気持ち、思いに寄り添っていくことが大切。まず自分から、心を開いて声をかけたり、お手本となったりして、示していきたいと思った。
- ・職場での自分の役割について再確認できた。
- ・忙しさのあまりため息を出してしまっていたように思う。
- ・「接遇」という言葉は初めて聞いたがとても大切なことだった。
- ・指導や助言をするとき、一言添えるだけで相手の心が和んだり、不快な思いを抱かせずに話ができる事がわかった。

| 講義Ⅱ | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 |
|-----|-----|------|------|----|-----|
| | 62 | 133 | 37 | 3 | 14 |
| | 25% | 53% | 15% | 1% | 6% |

Q 3

- ・ 難しかった。
- ・ レポート、論文の書き方の基本がわかりよかった。
- ・ ひとつひとつ細かいところまで書き方のコツを教えてもらえ、組み立て方がわかりよかった。
- ・ 今から大切な能力になってくると思う。
- ・ 2日目の発表のときも、頭においてレポート発表を見ることができた。
- ・ 正確な表現方法がわからなかったので参考になった。ワークショップをすることで短時間に振り返ることができた。
- ・ 保育についていろいろな研究や方法について、事例を交えながら説明してもらったのでわかりやすかった。書き方についても、普段の仕事では直接学ぶ機会がないので聞けてよかった。
- ・ 内容が思っていたものと違った。大学生向けの内容に感じた。
- ・ 文や漢字など自分で気付ける校正はしっかりとみられるようにポイントを知らせていきたい。
- ・ 論文を書く機会はあまりないが、レポート報告書を書くことは多くあるので参考にしたい。
- ・ 基本の基本から教えてもらえた。
- ・ 今までにない講義内容で新鮮だった。
- ・ 論文を書くことはないが、保育の研究をする姿勢を大切にしていきたいと思った。
- ・ レポート、論文はあまり書かないので、保育記録の書き方にもつながればよかったと思う。
- ・ 知らないこと事ばかりで勉強になった。
- ・ 書く立場ではなく校正する立場としての話をもう少し聞きたかった。
- ・ もう少し現場寄りの内容がよかった。
- ・ 事例研究や調査研究、実践研究など結果がわかりやすい研究、事前と事後アンケートがあるなど比較しやすいデータがある方が書きやすいということがわかった。
- ・ 日誌のチェックなどでも役立つことがあり今後参考にしていきたい。
- ・ 表記の仕方について、今さら小学生への教えのような内容で残念。これが保育士の現状なら主任保育士研修会以前で取り上げてほしい。論文の書き方よりも現実の保育につながる論文の内容について聞きたかった。
- ・ 日々の子どものかかわりや記録が、レポート作成においてとても重要だとわかった。
- ・ とても大事なことだが、あまり身近に感じるができなかった。
- ・ 園で保育の研究課題を出して歩んでいるが、その歩み方がわからず手探りだったので、やり方や方向は少し理解できよかった。しかしもっと何度もの読み込みが必要だと感じた。
- ・ 文章を書くことが苦手。主任として、他の保育士の文章など読み直していく中、文章力や決まり事のアドバイスをもう少し研修したかった。
- ・ 専門的な知識で面白かった。
- ・ 具体的な例文を提示して説明をしてもらおうと、もっと理解しやすかったと思う。
- ・ しっかり準備をしてまとめていき、後の見直しも大切であることがわかった。考察に感想をいれないことも知ることができた。
- ・ これから先、講義の内容を活かすことがあるかわからない。
- ・ 自分の保育を客観的に分析し、課題をし、改善していく上での視点がよくわかった。
- ・ 実践があるとよかったです。
- ・ 実勢に自分が書くようになったとき改めて振り返る大事な講義だった。日々の文章を書く上でとてもためになった。
- ・ 句読点のこと、改行のことなど参考になった。
- ・ タイトルの考え方や表記の仕方について、今まで学んだことがなかったので、今後本を読むときの参考になったし、自分でもテーマをもって保育してみようと思った。

| 講義Ⅲ | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 |
|-----|-----|------|------|----|-----|
| | 199 | 49 | 0 | 0 | 1 |
| | 80% | 20% | 0% | 0% | 0% |

Q 4

- ・わかりやすく、聞いていて楽しい、考えさせられる話だった。
- ・いろいろな具体例を交えて話してもらえよかった。新人・若手だけでなく最近の中堅・ベテラン保育士にその傾向が見られるので、また考え直していきたい。
- ・若い職員の中に事例に上がってくるような人材育成の必要性の人と出会った。もう少し早くこの講義を聞いていれば接し方が変わっていたのになと反省した。
- ・自分の中での課題であったことの話を受けて参考になった。
- ・伝える方だけでなく伝えられる方の理解度について考え、適切に伝えなければならないとわかった。相手が「～してくれない」と考えるだけではなく、自分がどう伝えるのかも考えなくてはならないと勉強になった。
- ・ほめたり認めたりして若い先生たちとの信頼関係を作っていきたい。
- ・人材育成は主任保育士研修会の永遠のテーマであると思う。
- ・話術に吸い込まれるようだった。
- ・若手保育士の指導に悩まされることが多かったが、今度はこうやってみようといういろいろ考え、気付くことができよかった。実践していきたいと思う。また各園の方の話聞いて、みんな一緒だ、がんばろう！と思え、気持ちが楽になった。
- ・具体的な方法がわかりやすかった。
- ・もっと詳しく聞きたかった。「人材育成」は一人ではできないのでぜひ園内研修に取り入れていきたいと思う。
- ・ひとつひとつ話されることにうなずくことばかりだった。
- ・笑いあり、ユーモアを交えた楽しい講義だった。時間が足りず資料の内容を全部聞けなかったことが残念。
- ・今回の講義の中で一番関心を持って聞いた。
- ・疲れが先に立ち、たぶん表情が暗かったかなと。明るくしているつもりでもふとした時に出てしまっているのでは？と反省した。
- ・リズムカルで聞きやすかった。
- ・人材育成の難しさを痛感した。
- ・自分の立場、役割を振り返り、課題を見つけられた。
- ・現在抱えている問題の解決の糸口が見えたように思う。
- ・園に帰ってすぐ実行したいと思う。
- ・若い保育士の特性がよくわかった。
- ・話し合う機会があり、悩みを共有し解決の方向が見えた。最後のしめ方もユーモアがあってよかった。
- ・言葉だけで伝わらないと改めて感じた。
- ・パイプ役ができるよう前向きにがんばりたい。
- ・自分の今後の行動に責任を持っていこうと感じた。
- ・明日への保育、育成に意欲が出た。
- ・自分の考えが固執し過ぎたと気付けた。
- ・指導の仕方等わかりやすかったが、実際そのようにできるかは不安。
- ・OJTは大切だということがわかった。まだ取り入れてないので参考にしたい。
- ・いろんな相手がいることを自分自身が理解した上でかかわっていくことが大切であり、信頼関係を築き手本になれるようないろいろな面でまだまだ努力が必要。
- ・一人ひとりの個性を伸ばす心がけを持ち、接し方（アプローチ支援）を個別に工夫して気長にかかわっていこうと思った。
- ・コミュニケーションのとり方の手立てがよくわかった。ここまでしなければわからないのか、という発見もあった。
- ・「みんなよくやってるよね～」の言葉で励まされ、明日からも元気ががんばろうと思った。
- ・とても楽しくあつという間だった。また機会があれば受講したい。
- ・新人を育てることで自分自身も育っていききたい。自分をほめてあげようと思った。
- ・向き合って指導するというよりは、つながっていききたいと思う。
- ・ポジティブシンキングで仕事に取り組みたいと思った。
- ・自分が変わらないと、他人も変わらないと気付かされた。
- ・楽しい中で大切なヒントを得ることが有意義な講義であった。
- ・新人よりベテランをどう指導するかが大きな課題。
- ・現状を理解し、合わせてひとつひとつ丁寧に説明して、スモールステップを積み重ねていかなければならないと思った。
- ・決めつけず、自分がして見せる方向を臨機応変にしていこうと思った。
- ・今後も信頼関係を築く努力を続け、職員のモチベーションが上がるように努めたい。
- ・今の新人保育士の様子、活動などを理解・共有して育てていきたい。
- ・先生の声が素敵でよく通り、聞きやすかった。

| パネル・グループ討議 | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 |
|------------|-----|------|------|----|-----|
| | 110 | 123 | 4 | 0 | 12 |
| | 44% | 49% | 2% | 0% | 5% |

Q 5

- ・他市の現状や具体的な案など、みんなで話すことができよかった。
- ・具体的な研修内容が聞けるとさらによかったと思う。
- ・他園の方の様々な意見はとても貴重で、参考になった。
- ・グループ討議で悩んでいることを相談できてよかった。
- ・助言の先生の話がよくわかり、まだまだ聞きたいと思った。
- ・スライドがころころと変わり、理解できずに質問タイムに入ることが多い。
- ・保育者の資質向上を図ることは、小さなことから、できることから少しずつしていくことが大切。
- ・人材確保…切実な問題。
- ・毎回、パネラーによる発表、それについての質疑応答、助言者からのアドバイス…ということが行われるが、この研修に必ずないといけないものではないと思う。時には違う時間にしてもよいのでは。
- ・少人数での話し合いは、身近な保育内容、子どものことなど、たくさん話ができよかった。
- ・現状を話し合う時間、助言ととても充実していた。
- ・自園に持ち帰れることがたくさんあった。
- ・多くの先生方と話すことができ、がんばる力がわいてきた。
- ・みんな同じような悩みを持って仕事をされていて、自分だけじゃない、と安心した。
- ・もう少しテーマである「保育士の資質向上を図る」に絞った具体的事例を掘り下げた話が聞けるとよかった。発表園ならではの特色ある取り組みに絞って話してもらえると、詳しい内容が聞けたと思う。
- ・テーマが大きすぎて、発表とずれているように感じた。園での取り組み程度に終わっているのが残念だった。
- ・広範囲なテーマなのでサブタイトルで絞るのは大変だと思った。どういう経緯でテーマが決まるのか知らせてほしいし、講義Ⅱで言われたように、前年度の2月から取り組んだ方がよいということなので、もっと早くにテーマを決めてほしい。
- ・パネラーの発表が素晴らしかった。
- ・園内研修をすることによって質の高い保育につながると思った。
- ・発表を通して自分の保育所のことも振り返ることができた。
- ・他園の問題や取り組み、保育内容の見直し等、自園と比較することで資質の向上に努めたい。
- ・ポジティブな言葉かけを再認識できた。
- ・様式が2園とも違って見にくかった。
- ・資質向上よりもまずは人材確保という意見に共感した。
- ・他園の取り組みをもとに工夫すること、考える課題が提案され面白かった。
- ・具体例や細かい部分の説明が足りなかったと思う。もう少しつめて発表してほしい。
- ・公立、私立、法人…園の方針や保育への共通認識などのすり合わせは、異動があるところのないところで課題が違おうなと感じた。また異動の有無に関係なく仕事に対する個々の意識の持ち方を上げていくという点で、各園ではなく公立職員全体で共有していくものもある。
- ・保護者がポジティブに協力してくれる園でうらやましく思った。
- ・園として取り組み（主任保育士の率先による）の事例研究について努力されていることが伝わった。
- ・保護者支援についてフェイスブック等、多様な方法が増えてきた。どこまでの支援ができるのか考えていきたい。
- ・大変勉強になった。
- ・実践発表は私たちにとって身近な事例がわかりやすいと思う。
- ・話し合いの題が決まっていなかったため、話しやすかった。
- ・園内研修が時間が取れず開催できにくく、職員の意識統一ができない中、2園はどうやって話し合いの時間を作ったのか聞きたかった。

| 全体 | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 無回答 |
|----|-----|------|------|----|-----|
| | 140 | 89 | 8 | 1 | 11 |
| | 56% | 36% | 3% | 0% | 5% |

Q 6

- ・主任保育士としてどれも大切な話でよかったと思う。
- ・いろんな方との同じ目線での交流は有意義だった。
- ・今回は理論ではなく、実践しやすい内容だった。
- ・人材育成についていろいろな話が聞け、職場での他職員に対してのかかわり方、伝え方、コミュニケーションのとり方など、多くのことに気づき実践していきたいと思う。
- ・園に帰って若い先生たちへの接し方を見直していきたい。
- ・個人的には、他園の事例を聞いたり話し合いができる、パネル・グループ討議を楽しみにしている。
- ・新年度入所受付の始まったこの時期（12月）はなるべくやめてほしい。
- ・時期を11月に戻してほしい。おゆうぎ会や監査前で園をあけることが難しい。
- ・講義が終わった後は拍手のみでなく、司会の簡単な感想があるといいと思う。
- ・机が全員に用意されていたので、記録をきちんとすることができよかった。
- ・天野先生からのエールが心に響いた。
- ・講義Ⅰ、Ⅲは参加してよかった。
- ・2日間弁当を注文していたが、値段のわりにおいしいものでなく残念だった。
- ・主任・主幹向けなので、待遇等よりも保護者支援や地域、他機関とのつながり、幼保小中連携など、題材を少し変えてほしい。
- ・かつて一緒に仕事をしていた方と15年ぶりに再会したり、他園（他市）の方と知り合えてうれしかった。もちろん研修内容もよかった。
- ・新しい発見があったり、みんな同じ悩みを持っていることがわかり、がんばろうと思えた。
- ・人材育成も大切だが、まずは人材確保を行うべき。
- ・人材育成は今後大きな課題になると思っていたので、たくさんのヒントをもらえよかった。
- ・主任になり悩んでいることばかりだったが糸口が見つかった。他園の先生方と話すことで少し心が軽くなった。
- ・身近なテーマだったので話が入りやすかった。改めて主任保育士の役割の大切さを感じた。また明日からもこの研修会の内容を活かしてがんばりたい。
- ・保育に関する内容をもっと取り上げてほしかった。
- ・ゆったりとした会場でよかった。
- ・話を聞くばかりではなく、実践もありよかった。他市町の様子も聞けてよかった。
- ・いつも松山での開催だが、何回かに1回は南予、東予での開催にしてほしい（遠くから来る大変さを味わってもらいたい）。または1日のみの研修にしてほしい。
- ・弁当屋の態度が悪い。えらそうで腹が立つ。
- ・和やかな雰囲気に参加できたのでよかった。
- ・園に持ち帰り職員一同に周知し、職員が一丸となって質の良い保育、いきいき働ける保育園を目指していきたいと思う。
- ・座る位置が端の方だったのでスクリーンが見えにくかった。
- ・ひとつひとつが知りたいと思っていた内容だったので、参加できてとてもよかった。
- ・空調が寒かった。
- ・主任という立場の重要さに改めて気づかされた。指導者としての心構えを大切に、若手の育成に努めたい。
- ・小さな園で他園との交流もないため、今の保育の現状と認識を深めることができた。
- ・同じ立場の人と話せたことはよかった。安心した。
- ・自らの気づき、反省、前進の参考になった。
- ・今の自分の課題を見つけることができた。
- ・有意義な2日間だった。
- ・時間配分がよかった。朝のスタートが10時だと通いやすい。
- ・男性保育士の主任が増えてきていることにびっくりした。

Q7 今後、取り上げてほしいテーマや講演を聴いてみたい講師など

- ・昨年度のような防災の話や、コーチングなどについて
- ・愛着障がいについて
- ・保育記録の書き方、指導法、仕事への意欲、積極的行動の大切さ
- ・職場づくり（職場内連携、会議の持ち方の実例）、人材育成プログラムの実例紹介
- ・保育指針の改訂に向かう中で、乳児期の保育内容が強化されたり、災害などへの備えに対する項目が強化されたりするので、その辺りを再度考えられる研修を受けたい。
- ・保育以外のことを研修してほしい（会社の社長さんなど）。
- ・リスクマネジメントについて
- ・日頃の疲れを癒したり、リフレッシュできる内容
- ・小規模保育園や認定こども園について
- ・今回の「論文の書き方」のような研修は今まで保育士向けにはあまりなかったように思うがとても勉強になった。初任者向けに「文章の書き方」のような研修があればいいと思う。
- ・メンタルヘルスについて
- ・動物の子育てについて
- ・人材確保について
- ・アンガーマネジメントについて
- ・新人ではなく、年上、年配の方への指導についての注意点など知りたい。
- ・中堅保育士の指導について
- ・書類を見るにあたってのポイント、注意事項など
- ・認定こども園導入のメリット・デメリット
- ・今後求められる保育所のあり方について
- ・実技（体育、音楽、図工）
- ・自己理解を促す振り返りとは？自分を知らないと改善につながらないので。
- ・特別支援や問題家庭のケース対応を取り上げてほしい。
- ・保育士の資質向上のために園内研修は必要不可欠だとわかっているが、時間が取れなかったりとなかなか実施できないので、どう取り組んでいけばいいかについて講演があれば聞いてみたい。
- ・対応の難しい保護者とのコミュニケーションのとり方
- ・大豆生田先生 子育て支援研修
- ・外遊び体育遊具協会 安田祐治氏 体育遊び指導者を育てる
- ・天野先生
- ・ジャーナリスト 猪熊弘子氏 保育のゆくえ（これからの保育）
- ・夏井いつき氏 感性豊かな子どもを育てるために
- ・佐々木正美先生
- ・里美先生
- ・松田荘一郎先生
- ・ナースステーションの主任保育士 井桁先生
- ・新沢としひこさん
- ・ケロポンズ
- ・尾木ママ
- ・吉村真理子先生
- ・フェリアン大阪 津村先生
- ・鯨岡峻先生 エピソード記述の講演
- ・さくら・さくらんぼ体操

※課題のみ抜粋

【講義Ⅰ】

- ・時々保育の現場に関係のない内容（名刺交換、発声練習等）があった。

【講義Ⅱ】

- ・難しかった。
- ・内容が思っていたものと違った。大学生向けの内容に感じた。
- ・レポート、論文はあまり書かないので、保育記録の書き方にもつながればよかったと思う。
- ・書く立場ではなく校正する立場としての話をもう少し聞きたかった。
- ・もう少し現場寄りの内容がよかった。
- ・表記の仕方について、今さら小学生への教えのような内容で残念。これが保育士の現状なら主任保育士研修会以前で取り上げてほしい。論文の書き方よりも現実の保育につながる論文の内容について聞きたかった。
- ・とても大事なことだが、あまり身近に感じるができなかった。
- ・文章を書くことが苦手。主任として、他の保育士の文章など読み直していく中、文章力や決まり事のアドバイスをもう少し研修したかった。
- ・具体的な例文を提示して説明をしてもらおうと、もっと理解しやすかったと思う。
- ・これから先、講義の内容を活かすことがあるかわからない。
- ・実践があるともっとよかった。

【パネル・グループ討議】

- ・具体的な研修内容が聞けるとさらによかったと思う。
- ・助言の先生の話がよくわかり、まだまだ聞きたいと思った。
- ・スライドがころころと変わり、理解できずに質問タイムに入ることが多い。
- ・毎回、パネラーによる発表、それについての質疑応答、助言者からのアドバイス…ということが行われるが、この研修に必ずないといけないものではないと思う。時には違う時間にしてもよいのでは。
- ・もう少しテーマである「保育士の資質向上を図る」に絞った具体的な事例を掘り下げた話が聞けるとよかった。発表園ならではの特色ある取り組みに絞って話してもらおうと、詳しい内容が聞けたと思う。
- ・テーマが大きすぎて、発表とずれているように感じた。園での取り組み程度に終わっているので残念だった。
- ・広範囲なテーマなのでサブタイトルで絞るのは大変だと思った。どういう経緯でテーマが決まるのか知らせてほしいし、講義Ⅱで言われたように、前年度の2月から取り組んだ方がよいということなので、もっと早くにテーマを決めてほしい。
- ・様式が2園とも違って見にくかった。
- ・具体例や細かい部分の説明が足りなかったと思う。もう少しつめて発表してほしい。
- ・園内研修が時間が取れず開催できにくく、職員の意識統一ができない中、2園はどうやって話し合いの時間を作ったのか聞きたかった。

【研修全体】

- ・新年度入所受付の始まったこの時期（12月）はなるべくやめてほしい。
- ・時期を11月に戻してほしい。おゆうぎ会や監査前で園をあけることが難しい。
- ・講義が終わった後は拍手のみでなく、司会の簡単な感想があるといいと思う。
- ・2日間弁当を注文していたが、値段のわりにおいしいものでなく残念だった。
- ・主任・主幹向けなので、待遇等よりも保護者支援や地域、他機関とのつながり、幼保小中連携など、題材を少し変えてほしい。
- ・保育に関する内容をもっと取り上げてほしかった。
- ・いつも松山での開催だが、何回かに1回は南予、東予での開催にしてほしい（遠くから来る大変さを味わってもらいたい）。または1日のみの研修にしてほしい。
- ・弁当屋の態度が悪い。えらそうで腹が立つ。
- ・座る位置が端の方だったのでスクリーンが見えにくかった。
- ・空調が寒かった。